

「樹氷復活県民会議」概要

〈県民会議のミッション〉 蔵王国定公園特別保護地区内国有林のオオシラビソ（別名アオモリトドマツ）林景観の保全と再生
～ 22世紀までも輝く樹氷を目指して ～

〈取組むべき課題〉

- 優れた自然の風景地の保護（自然公園法に基づく国定公園）
- 林野庁東北森林管理局との連携
- 適切な人為による自然再生（自生する稚樹が少ない）
- 再生に係る知見の蓄積（全国的にも事例なし）
- 長期にわたる取組み（再生するまでに70年以上を要する）
- 観光資源としての価値向上（樹氷が形成される環境の保全）

〈取組むべき項目〉

- ①国定公園特別保護地区における植生の復元の支援
- ②オオシラビソ林の保全と再生に向けた調査研究への協力
- ③オオシラビソ林の保全と再生に向けた林野庁東北森林管理局との連携強化
- ④県民への普及啓発、県（国）内外への情報の発信（環境・観光）
- ⑤SDGsに向けた取組みとして企業・団体・個人サポーターへの参画呼びかけ
- ⑥次世代（子どもたち）への継承機会の確保

全体会議

- ◇会長：知事
- ◇副会長：山形市長、上山市長、公益社団法人山形県観光物産協会会長、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構理事長
- ◇構成団体：山形県、山形市、上山市、山形県市長会、山形県町村会、公益社団法人山形県観光物産協会、やまがた観光キャンペーン推進協議会、一般社団法人山形市観光協会、蔵王温泉観光協会、一般社団法人上山市観光物産協会、一般社団法人山形県経営者協会、山形県商工会議所連合会、山形経済同友会、山形県商工会連合会、山形県中小企業団体中央会、一般社団法人山形県銀行協会、蔵王索道協会、公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構、山形県緑の少年団連盟、社会福祉法人山形県社会福祉協議会
- ◇アドバイザー：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所長、山形大学学術研究院教授 林田光祐、山形大学蔵王樹氷火山総合研究所副所長（山形大学名誉教授） 柳澤文孝
- ◇オブザーバー：環境省東北地方環境事務所長、林野庁東北森林管理局山形森林管理署長
- ◆事務局：山形県（環境エネルギー部）

WG

技術検討WT（①・②・③）

- ・国定公園特別保護地区における植生の復元の支援（試験圃場整備、播種・育苗）
- ・オオシラビソ林の保全と再生に向けた調査研究への協力（移植、育苗及び種子保存）
- ・オオシラビソ林の保全と再生に向けた林野庁東北森林管理局との連携強化（技術的知見の共有）

等

県農林水産部（森林ノミクス推進課・森林研究研修センター）
地元市町村（山形市、上山市）
やまがた森林と緑の推進機構
山形森林管理署（オブザーバー）



情報発信・次世代継承WT（④・⑤・⑥）

- ・県民への普及啓発、県（国）内外への情報の発信（環境・観光）
- ・SDGsに向けた取組みとして企業・団体・個人サポーターへの参画呼びかけ
- ・次世代（子どもたち）への継承機会の確保（環境教育の実施、学校等参加の促進）

等

県観光文化スポーツ部（観光復活戦略課）
県教育委員会（教育政策課）
地元市町村・地元市町村教育委員会（山形市・上山市）
県観光物産協会・市町村等観光協会
やまがた森林と緑の推進機構
山形県緑の少年団連盟・在形報道機関
山形森林管理署（オブザーバー）



県環境エネルギー部（みどり自然課）：事務局

サポーター

樹氷復活に係る取組み（植栽ボランティア、募金活動、学習イベントの開催等）に自発的に取り組んでいる、又は取組みを支援している企業・団体・個人を登録し、紹介